



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月15日

東

上場会社名 ペイクラウドホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 4015 URL <https://www.paycloud.inc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 陽介
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 (TEL) 03-5414-3666
定時株主総会開催予定日 2026年11月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績(2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	11,142	8.9	1,357	5.3	828	13.3	812	13.7	418	191.4
2025年8月期	10,234	49.3	1,289	78.7	731	116.4	714	123.1	143	93.9

(注) 包括利益 2026年8月期 413百万円(188.1%) 2025年8月期 143百万円(110.3%)

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%	%	%	%	円	銭
2026年8月期	26	48	26	14	9.4	8.7	7.4			
2025年8月期	9	06	8	88	3.4	8.1	7.1			

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

(注) 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む) + 株式報酬費用

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2026年8月期	9,326		4,736		48.8		294	92
2025年8月期	9,409		4,530		46.5		274	98

(参考) 自己資本 2026年8月期 4,548百万円 2025年8月期 4,374百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	227	△452	△312	3,834
2025年8月期	1,408	△272	10	4,373

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年8月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 13,000	% 16.7	百万円 1,400	% 3.1	百万円 840	% 1.4	百万円 820	% 1.0	百万円 580	% 38.5	円 銭 37.61

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社（社名） — 除外 社（社名） —

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期	16,022,148株	2025年8月期	15,907,408株
2026年8月期	600,771株	2025年8月期	771株
2026年8月期	15,815,286株	2025年8月期	15,851,687株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

（参考）個別業績の概要

1. 2026年8月期の個別業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	1,184	18.4	384	22.7	349	19.3	391	6.3
2025年8月期	1,000	5.1	313	878.2	293	56.2	367	95.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	24.72	24.40
2025年8月期	23.18	22.71

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	6,085	4,780	75.5	297.83
2025年8月期	5,987	4,597	74.2	279.18

（参考）自己資本 2026年8月期 4,592百万円 2025年8月期 4,440百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	17
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年9月1日～2026年8月31日)における世界経済は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続きました。一方、中東情勢をはじめとする地政学的リスク、米国の通商政策をめぐる動向、金融資本市場の変動等により、先行きの不透明感が継続しました。また、わが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、個人消費に持ち直しの動きがみられ、設備投資も持ち直しているなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、継続的な物価上昇、中東情勢や自然災害等の影響、金融資本市場の変動等が景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状態にあります。

このような環境下において、当社グループでは、各種新サービスの立ち上げを行い、既存サービスの機能拡充を進め、顧客獲得、事業規模の拡大を進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高11,142,305千円(前年同期比8.9%増)、営業利益828,468千円(前年同期比13.3%増)、経常利益812,120千円(前年同期比13.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益418,898千円(前年同期比191.4%増)となりました。また、当社グループが経営戦略上の重要指標であると捉えている調整後EBITDA(*)は1,357,897千円(前年同期比5.3%増)となりました。

(*) 調整後EBITDAは、営業利益と減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及び株式報酬費用の合計額となっております。

セグメントの概況は以下のとおりであります。

a. キャッシュレスサービス事業

「キャッシュレスサービス事業」については、決済手数料収入の着実な上積みが進み、利益率が当初の計画を上回って推移しました。キャッシュレスサービス事業の当連結会計年度末における顧客数は1,164社となり、累計エンドユーザー数は244,332千人となりました。また、当連結会計年度における独自Payの決済取扱高は、約1.58兆円と堅調に増加しました。

その結果、キャッシュレスサービス事業の当連結会計年度における売上高3,862,228千円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益822,218千円(前年同期比2.5%増)となりました。なお、本年4月からは、一般財団法人京都仏教会とバリューデザインが共同開発した寺院・神社向けキャッシュレス決済「おまいりPay」の提供も開始するなど、新たなサービスの開発・提供に取り組んでまいりました。

b. デジタルサイネージ関連事業

「デジタルサイネージ関連事業」については、多店舗展開する企業へのデジタルサイネージ導入が進んだことや、商業施設やオフィスサイネージの導入が寄与し、売上高、利益ともに堅調に推移いたしました。また、当連結会計年度におけるデジタルサイネージ累計設置面数は74,936面、累計設置箇所は32,782箇所、順調に増加いたしました。

その結果、デジタルサイネージ関連事業の当連結会計年度における売上高6,249,669千円(前年同期比9.8%増)、セグメント利益860,591千円(前年同期比6.8%増)となりました。

c. ソリューション事業

「ソリューション事業」については、連結子会社であるアララ株式会社の主要なサービスであるメッセージングサービスにおいて、事業者向けにメッセージ配信を行う法人企業へのアウトバウンド営業活動を引き続き強化してまいりました。また、AIの台頭に伴う検索行動の変化や検索経由の流入減少を踏まえ、新たな顧客接点・流入チャネルの開拓に取り組んでおります。なお、メッセージングサービスの当連結会計年度における取引社数は430社、解約率は2.0%となりました。

その結果、ソリューション事業の当連結会計年度における売上高792,038千円(前年同期比2.9%増、セグメント間の内部売上高8,953千円を含む)、セグメント利益276,600千円(前年同期比7.3%減)となりました。

d. その他の事業

2025年11月開示の「事業計画及び成長可能性に関する事項」において言及したタッチ決済分野へのビジネス拡張については、外部パートナーと開発した商品等の販売元への最初の納品が完了し売上を計上いたしました。新機能追加も準備しており、また海外も含めた販路の拡大に取り組んでおります。

その結果、その他の事業の当連結会計年度における売上高247,321千円（前年同期比1,685.5%増）、セグメント損失505千円（前年同期は66,778千円の損失、66,273千円の改善）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は9,326,190千円となり、前連結会計年度末に比べ83,498千円減少いたしました。

このうち、流動資産は6,082,319千円（前連結会計年度末から61,279千円の減少）となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が384,696千円、棚卸資産が116,196千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が539,293千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,243,870千円（前連結会計年度末から22,219千円の減少）となりました。これは主として、ソフトウェアが188,449千円、敷金及び保証金が152,108千円それぞれ増加した一方、のれんが258,567千円、顧客関連資産が60,300千円、ソフトウェア仮勘定が76,077千円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は4,590,013千円となり、前連結会計年度末に比べ289,376千円減少いたしました。

このうち、流動負債は3,680,405千円（前連結会計年度末から193,280千円の減少）となりました。これは主として買掛金が236,925千円、１年内返済予定の長期借入金が77,225千円、前受金が35,710千円それぞれ増加した一方、短期借入金が125,000千円、預り金が390,787千円、未払法人税等が75,697千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は909,607千円（前連結会計年度末から96,095千円の減少）となりました。これは主として、長期借入金が14,278千円、契約損失引当金が82,500千円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は4,736,177千円となり、前連結会計年度末から205,877千円増加いたしました。

これは主として、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ26,842千円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益418,898千円を計上したことによるものであります。また、取締役会決議に基づき、自己株式を600,000株取得したことにより、自己株式が292,682千円増加しております。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ539,293千円減少し、3,834,350千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは227,871千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益817,880千円、減価償却費222,214千円、のれん償却額258,567千円、売上債権の増加額384,516千円、預り金の減少額390,816千円、法人税等の支払額467,552千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは452,017千円の使用となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出32,558千円及び無形固定資産の取得による支出274,564千円、敷金及び保証金の差入による支出145,784千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは312,684千円の使用となりました。これは主に、短期借入金の減少額125,000千円、長期借入れによる収入450,000千円、長期借入金（一年内返済予定を含む）の返済による支出387,053

千円、自己株式の取得による支出292,682千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2027年8月期においても、「キャッシュレスサービス事業」及び「デジタルサイネージ関連事業」を成長ドライバーと位置付け、積極的な投資を継続してまいります。

「キャッシュレスサービス事業」におきましては、様々な技術革新やサービス提供が行われており、今後も市場規模は拡大するものと考えております。

連結子会社の株式会社バリューデザインにおいては、顧客のキャッシュ・フローの良化とロイヤルカスタマーの構築に寄与する点を強みに、決済・マーケティングサービスの強化をはじめ、寺院・神社など専門領域に特化したキャッシュレス決済や人材領域にもサービスを広げ、企業や店舗、地域・団体など、さまざまな顧客の課題解決と事業成長を多方面から支援すべく、事業領域の拡大に向けた投資を継続いたします。具体的には、独自Payプラットフォームの統合、新サービスの開発・改修、各種汎用決済手段への対応のためのGateway、オンラインチャージ対応に投資を行います。

「デジタルサイネージ関連事業」におきましては、動的かつ視覚的にインパクトのある情報をリアルタイムに提供することで急速に変化する市場のニーズに応えることが可能なことに加え、労働力不足を補う自動化ツールとしての役割への期待から、デジタルサイネージの需要は堅調に続くものと考えております。

連結子会社の株式会社クラウドポイントでは、顧客のデジタルサイネージの導入計画策定から機器選定、システム提案、設置工事、コンテンツ制作・配信、システムの保守・運用まで、ワンストップで行う強みを活かし、引き続き顧客基盤の強化を進めてまいります。今期も全体業績の約6割を占めるロイヤルカスタマーへの継続的な営業を強化してまいります。また、今後の多店舗・大型店舗での導入を見据え、その実現にあたり必要な人材の採用・育成への投資を継続的に実施いたします。

「ソリューション事業」は、連結子会社のアララ株式会社の主要なサービスであるメッセージングサービスにおきまして、サービスメニューの拡充等の施策により既存顧客の単価向上を図ってまいります。また、生成AIの普及を背景とする情報検索行動の変容を受け、マーケティングの見直し等により新規顧客の獲得に取り組んでまいります。このような施策により、今後も本事業の業績は安定的に推移していくものと考えております。

なお、グループ全体としてもAIの活用を積極的に推進することで、業務効率化、生産性の向上を図ってまいります。

以上のことから、2027年8月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は13,000,000千円、調整後EBITDAは1,400,000千円、営業利益は840,000千円、経常利益820,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益580,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373,643	3,834,350
受取手形、売掛金及び契約資産	1,127,384	1,512,081
棚卸資産	426,358	542,554
その他	217,033	194,896
貸倒引当金	△820	△1,562
流動資産合計	6,143,599	6,082,319
固定資産		
有形固定資産		
建物	85,155	85,155
減価償却累計額	△71,064	△74,937
建物（純額）	14,090	10,217
工具、器具及び備品	332,070	342,388
減価償却累計額	△292,754	△298,907
工具、器具及び備品（純額）	39,316	43,481
リース資産	214,420	133,803
減価償却累計額	△213,945	△133,803
リース資産（純額）	475	0
建設仮勘定	4,873	11,068
その他	38,485	38,405
減価償却累計額	△38,485	△38,405
その他（純額）	—	—
有形固定資産合計	58,754	64,767
無形固定資産		
のれん	2,000,727	1,742,160
顧客関連資産	412,050	351,750
ソフトウェア	371,124	559,573
ソフトウェア仮勘定	171,840	95,762
その他	657	571
無形固定資産合計	2,956,400	2,749,819
投資その他の資産		
投資有価証券	32,439	31,637
敷金及び保証金	133,952	286,060
繰延税金資産	43,647	37,999
その他	41,824	74,805
貸倒引当金	△929	△1,218
投資その他の資産合計	250,935	429,284
固定資産合計	3,266,089	3,243,870
資産合計	9,409,689	9,326,190

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	630,563	867,488
短期借入金	675,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	331,090	408,315
リース債務	522	—
未払金	276,867	287,929
未払法人税等	272,919	197,221
前受金	261,730	297,440
賞与引当金	44,216	44,858
預り金	1,142,394	751,607
契約損失引当金	62,000	82,500
その他	176,382	193,043
流動負債合計	3,873,686	3,680,405
固定負債		
長期借入金	765,878	751,599
契約損失引当金	236,400	153,900
退職給付に係る負債	3,424	4,107
固定負債合計	1,005,702	909,607
負債合計	4,879,389	4,590,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,054,369	1,081,212
資本剰余金	3,023,762	3,050,605
利益剰余金	303,153	722,052
自己株式	△447	△293,130
株主資本合計	4,380,838	4,560,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,259	△5,801
為替換算調整勘定	△1,516	△6,774
その他の包括利益累計額合計	△6,775	△12,576
新株予約権	156,237	188,013
純資産合計	4,530,300	4,736,177
負債純資産合計	9,409,689	9,326,190

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	10,234,033	11,142,305
売上原価	6,229,129	6,821,596
売上総利益	4,004,904	4,320,708
販売費及び一般管理費	3,273,473	3,492,240
営業利益	731,430	828,468
営業外収益		
受取利息	7,528	12,029
受取配当金	325	190
為替差益	2,673	5,345
受取保険金	2,338	—
その他	2,131	2,047
営業外収益合計	14,997	19,613
営業外費用		
支払利息	30,253	33,636
支払手数料	1,036	2,322
その他	896	2
営業外費用合計	32,186	35,960
経常利益	714,241	812,120
特別利益		
固定資産売却益	2,361	—
投資有価証券売却益	27,994	—
新株予約権戻入益	8,789	5,760
特別利益合計	39,145	5,760
特別損失		
固定資産除却損	1,623	—
減損損失	54,924	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	5,052	—
契約損失引当金繰入額	298,400	—
特別損失合計	360,001	—
税金等調整前当期純利益	393,386	817,880
法人税、住民税及び事業税	398,091	393,073
法人税等調整額	△148,460	5,908
法人税等合計	249,630	398,981
当期純利益	143,755	418,898
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	143,755	418,898

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益	143,755	418,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,046	△542
為替換算調整勘定	1,691	△5,258
その他の包括利益合計	△355	△5,800
包括利益	143,399	413,098
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	143,399	413,098
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,021,779	4,805,133	△1,659,302	△13,195	4,154,415
当期変動額					
新株の発行	32,589	32,589	—	—	65,179
欠損填補	—	△1,818,700	1,818,700	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	143,755	—	143,755
自己株式の取得	—	—	—	△27	△27
自己株式の処分	—	4,740	—	12,775	17,515
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	32,589	△1,781,370	1,962,456	12,747	226,422
当期末残高	1,054,369	3,023,762	303,153	△447	4,380,838

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△3,212	△3,207	△6,419	67,464	4,215,460
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	65,179
欠損填補	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	143,755
自己株式の取得	—	—	—	—	△27
自己株式の処分	—	—	—	—	17,515
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,046	1,691	△355	88,772	88,416
当期変動額合計	△2,046	1,691	△355	88,772	314,839
当期末残高	△5,259	△1,516	△6,775	156,237	4,530,300

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,054,369	3,023,762	303,153	△447	4,380,838
当期変動額					
新株の発行	26,842	26,842	—	—	53,684
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	418,898	—	418,898
自己株式の取得	—	—	—	△292,682	△292,682
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	26,842	26,842	418,898	△292,682	179,901
当期末残高	1,081,212	3,050,605	722,052	△293,130	4,560,739

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△5,259	△1,516	△6,775	156,237	4,530,300
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	53,684
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	418,898
自己株式の取得	—	—	—	—	△292,682
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△542	△5,258	△5,800	31,776	25,976
当期変動額合計	△542	△5,258	△5,800	31,776	205,877
当期末残高	△5,801	△6,774	△12,576	188,013	4,736,177

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	393,386	817,880
減価償却費	197,164	222,214
減損損失	54,924	—
のれん償却額	258,567	258,567
為替差損益(△は益)	△2,951	△4,969
株式報酬費用	102,133	48,647
支払手数料	1,036	2,322
新株予約権戻入益	△8,789	△5,760
貸倒引当金の増減額(△は減少)	699	1,030
受取利息及び受取配当金	△7,853	△12,219
支払利息	30,253	33,636
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損益(△は益)	5,052	—
売上債権の増減額(△は増加)	△36,717	△384,516
棚卸資産の増減額(△は増加)	△50,978	△116,808
仕入債務の増減額(△は減少)	255,269	237,641
投資有価証券売却損益(△は益)	△27,994	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,310	642
契約損失引当金の増減額(△は減少)	298,400	△62,000
未払金の増減額(△は減少)	△33,141	19,908
未払費用の増減額(△は減少)	18,398	27,562
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,734	△14,013
前受金の増減額(△は減少)	△94,863	35,980
預り金の増減額(△は減少)	494,064	△390,816
その他	△115,190	1,512
小計	1,760,917	716,443
利息及び配当金の受取額	7,853	12,219
利息の支払額	△29,799	△33,239
法人税等の支払額	△330,330	△467,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,408,641	227,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,182	△32,558
投資有価証券の取得による支出	△3,000	—
投資有価証券の売却による収入	29,680	—
無形固定資産の取得による支出	△271,175	△274,564
固定資産の売却による収入	3,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△24,607	△145,784
敷金及び保証金の回収による収入	3,727	889
その他の収入	11,754	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272,802	△452,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	358,360	△125,000
長期借入れによる収入	—	450,000
長期借入金の返済による支出	△386,898	△387,053
社債の償還による支出	△36,000	—
リース債務の返済による支出	△4,699	△522
自己株式の売却による収入	19,647	—
自己株式の取得による支出	△27	△292,682
新株予約権の行使による株式の発行による収入	60,607	42,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,988	△312,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,453	△2,463
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,145,374	△539,293
現金及び現金同等物の期首残高	3,228,269	4,373,643
現金及び現金同等物の期末残高	4,373,643	3,834,350

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっております。

当社グループは「キャッシュレスサービス事業」、「デジタルサイネージ関連事業」、「ソリューション事業」及び「その他の事業」を展開しており、それぞれの事業において、顧客へ包括的な戦略を立案し、サービス提供活動を行っております。従って、当社グループは「キャッシュレスサービス事業」、「デジタルサイネージ関連事業」、「ソリューション事業」及び「その他の事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「キャッシュレスサービス事業」は、スーパーマーケット、飲食店等の店舗を展開する顧客向けに、エンドユーザーが利用するハウス電子マネーやポイント、デジタルギフトカードなどのサービスを提供しております。

「デジタルサイネージ関連事業」では、ショッピングセンター、飲食チェーン店、コンビニエンスストア、オフィスや駅・空港など、多種多様な業種の顧客に対してデジタルサイネージの販売及び設置、メンテナンスサービスなど、デジタルサイネージに関するトータルソリューションを提供しております。

「ソリューション事業」のメッセージングサービスは、自社サービス等で一時に大量にメール配信を行う顧客を対象に、メッセージ伝達に欠かせない機能を備えたサービスを提供しており、同じくデータセキュリティサービスは、主に個人情報を大量に取り扱う顧客向けに個人情報管理ソリューション「P-P o i n t e r F i l e S e c u r i t y」を提供しております。また、その他のサービス(ARサービス)では、主にエンドユーザー向けプロモーションを実施したい顧客向けサービスとして、ARアプリケーション「ARAPPLI」の提供やARコンテンツ制作を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	キャッシュレ スサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューショ ン事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,768,534	5,690,126	761,521	13,851	10,234,033	—	10,234,033
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	371	—	8,554	—	8,925	△8,925	—
計	3,768,905	5,690,126	770,075	13,851	10,242,958	△8,925	10,234,033
セグメント利益又は損 失 (△)	802,152	805,948	298,316	△66,778	1,839,639	△1,108,208	731,430
その他の項目							
減価償却費	153,626	11,824	18,968	393	184,813	12,350	197,164

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,108,208千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。また、減価償却費の調整額12,350千円は、全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及びセグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象になっていないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	キャッシュレ スサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューショ ン事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,862,228	6,249,669	783,085	247,321	11,142,305	—	11,142,305
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	8,953	—	8,953	△8,953	—
計	3,862,228	6,249,669	792,038	247,321	11,151,258	△8,953	11,142,305
セグメント利益又は損 失 (△)	822,218	860,591	276,600	△505	1,958,906	△1,130,438	828,468
その他の項目							
減価償却費	169,032	23,245	18,654	3,519	214,451	7,762	222,214

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,130,438千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。また、減価償却費の調整額7,762千円は、全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産及びセグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象になっていないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	計		
減損損失	54,924	—	—	—	54,924	—	54,924

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューシ ョン事業	その他の 事業	計		
当期償却額	118,255	140,311	—	—	258,567	—	258,567
未償却残高	808,082	1,192,645	—	—	2,000,727	—	2,000,727

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額
	キャッシュ レスサービス事 業	デジタル サイネージ 関連事業	ソリューシ ョン事業	その他の 事業	計		
当期償却額	118,255	140,311	—	—	258,567	—	258,567
未償却残高	689,826	1,052,334	—	—	1,742,160	—	1,742,160

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	812,646	5,110,268	48,073	13,381	5,984,370
リカーリング売上	2,858,753	486,322	713,447	470	4,058,993
その他の売上	97,134	93,535	—	—	190,669
顧客との契約から生じる収益	3,768,534	5,690,126	761,521	13,851	10,234,033
外部顧客への売上高	3,768,534	5,690,126	761,521	13,851	10,234,033

当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	562,458	5,592,479	30,443	246,362	6,431,743
リカーリング売上	3,172,469	576,971	752,642	909	4,502,993
その他の売上	127,301	80,217	—	50	207,569
顧客との契約から生じる収益	3,862,228	6,249,669	783,085	247,321	11,142,305
外部顧客への売上高	3,862,228	6,249,669	783,085	247,321	11,142,305

2. 当連結会計年度及び翌連結会計年度以降の収益の金額を理解するための情報

前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権 (期首残高)	1,090,445
顧客との契約から生じた債権 (期末残高)	1,127,384
契約負債 (期首残高)	13,857
契約負債 (期末残高)	13,234

(注) 顧客との契約から生じた債権は、「受取手形、売掛金及び契約資産」として表示しております。また、契約負債は、流動負債の「前受金」に含まれております。

当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 千円)

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権 (期首残高)	1,127,384
顧客との契約から生じた債権 (期末残高)	1,512,081
契約負債 (期首残高)	13,234
契約負債 (期末残高)	12,616

(注) 顧客との契約から生じた債権は、「受取手形、売掛金及び契約資産」として表示しております。また、契約負債は、流動負債の「前受金」に含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	274.98円	294.92円
1株当たり当期純利益	9.06円	26.48円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	8.88円	26.14円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	143,755	418,898
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	143,755	418,898
普通株式の期中平均株式数(株)	15,851,687	15,815,286
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	326,117	206,722
(うち新株予約権(株))	(326,117)	(206,722)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第15回新株予約権 新株予約権の数 462個 (普通株式 46,200株) 第26回新株予約権 新株予約権の数 1,825個 (普通株式 182,500株)	第15回新株予約権 新株予約権の数 454個 (普通株式 45,400株) 第24回新株予約権 新株予約権の数 112個 (普通株式 77,728株) 第25回新株予約権 新株予約権の数 178個 (普通株式 17,800株) 第26回新株予約権 新株予約権の数 1,825個 (普通株式 182,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。